

国語

■ 帰国生入試（45分・100点）

問題構成

- 1 漢字の読み書き
- 2 作文

ある程度の長さの文章を読み、その本文に関わる問い＋提示された課題についての600～800字程度の作文。

傾向と対策

- ・ 課題文章をよく読んで、内容を理解しましょう。
- ・ 作文は書き出す前に、まず「全体の構成」を考え、いくつかの「段落」に分けて書くことが大切です。これは読み手に自分の考えをわかりやすく伝えるための工夫の一つです。
- ・ 「具体的な自分の体験・経験」を交えながら書き、その体験・経験から得られた「考え」や「思い」を伝えましょう。
- ・ 主語・述語や修飾語・被修飾語など、それぞれの対応関係が正しいかどうかには注意しましょう。また、漢字・語句などは正しく表記しましょう。





算数

■ 帰国生入試（45分・100点）

問題構成

第1問：計算・小問集合

第2問：文章題

第3問：関数の問題（グラフ）

第4問：平面図形

第5問：空間図形

傾向と対策

- ・ 小数・分数の混じった計算、逆算の問題は頻出です。計算の工夫の仕方を身に付けると、ミスも減りスピードも速くなります。
- ・ グラフの問題は、グラフを書く練習だけでなく、グラフからどういう情報が読み取れるかも大切にしてください。変化の変わるポイントを押さえておくことが重要です。
- ・ いきなり『答え』を出そうとするのではなく、どんな解き方ができるか？をいろいろ考えてみてください





英語

■ 帰国生入試（約70分）

問題構成

Reading : 35分 Writing : 25分 Speaking : 約10分

※ReadingとWritingは連続して60分で実施します。

傾向と対策

Reading : **長文読解問題**と**文法語彙問題**が出題されます。対策として、時間を測りながら、まとまった文章を読む練習をしてみましょう。その際に、内容の展開が理解できているかどうか、基本的な文法が身についているかどうか、語彙表現が理解できているかどうかを確認しましょう。

Writing : あるテーマに関する**英語の作文**を出題します。時間を測りながら、任意のテーマについて自分の考えを書いたりする練習をしてみましょう。

Speaking : Writingと同様、時間を測りながら、任意のテーマについて自分の考えを話してみたりする練習をしてみましょう。

その際に、以下のことを確認してみましょう。

- ・自分の意見に論理的な理由をつけているか
- ・内容が首尾一貫して展開しているかどうか
- ・語彙表現や文法が適切かどうか





国語

■ 1 教科入試（60分・100点）

問題構成

1 長文問題 2 題（物語文・説明文）

2 その他

漢字・慣用句・四字熟語・ことわざ・文法事項など
思考力をはかる問題など

※配点…各1点～10点ほど

傾向と対策

物語文：情景や会話から、登場人物の気持ちや考えをとらえる力が大切です。

説明文：文章の話題や要旨を的確にとらえる論理力が必要です。

漢字：小学校学習指導範囲からの出題ですが、語彙として知っているかどうかは、日頃の読書量などに大きく影響されます。漢字自体はやさしくても、言葉として知らないなどの漢字をあてればよいかかわからないと思いますので、日頃からの生活を大切にしてください。





算数

■ 1 教科入試（60分・100点）

問題構成

第1問 計算・小問（70点）

第2問 課題文を読み解きながら求める計算（10点）

第3問 データを扱う問題（10点）

第4問 考え方を問う問題（10点）

傾向と対策

第1問：〈基本的な計算力 公式の理解 読解力〉
この3つの能力の向上を目指してください。

第2問：課題文を理解する読解力が必要です。

第3問：データをまとめる力・表やグラフを作成する力を
身に付けましょう。

第4問：読解力＋論理的思考力＋表現力で、総合的な数学力を
確認します。





国語

■ 4教科入試（45分・100点）

問題構成

1 長文問題 2 題（物語文・説明文） ※記述形式あり

2 その他

漢字・慣用句・四字熟語・ことわざ・文法事項など
思考力をはかる問題など

※配点…各1点～10点ほど

傾向と対策

物語文：情景や会話から、登場人物の気持ちや考えをとらえる力が大切です。

説明文：文章の話題や要旨を的確にとらえる論理力が必要です。

※記述問題について

「物語文」では、主に心情や状況を説明することが求められます。

「説明文」では、主に段落や本文全体の論旨を説明することが求められます。一文で書いたほうがいいのか、あるいは二文・三文に分けて書いたほうがいいのかは、指定された字数の多さや内容に応じて、わかりやすく伝えるように工夫してください。

漢字：小学校学習指導範囲からの出題ですが、語彙として知っているかどうかは、日頃の読書量などに大きく影響されます。漢字自体はやさしくても、言葉として知らないとどの漢字をあてればよいかかわからないと思いますので、日頃からの生活を大切にしてください。





算数

■ 4教科入試（45分・100点）

問題構成

第1問：計算・小問集合

第2問：文章題

第3問：関数の問題（グラフ）

第4問：平面図形

第5問：空間図形

傾向と対策

- ・ 小学校で学んだことをしっかりと理解して、覚えるだけではなく自ら利用できるようにしましょう。
- ・ グラフを作成したり、作成したグラフを利用して考える練習をしましょう。
- ・ 図形をいろいろな視点から見たり、書いたりする習慣もつけましょう。





理科

■ 4教科入試（40分・100点）

問題構成

生物分野：約30点

化学分野：約25点

地学分野：約20点

物理分野：約25点

※以上の順番で出題されます。小問数は60問程度です。

傾向と対策

- ・ 基本的な知識・技能を問う問題、思考力・表現力を問う問題、身のまわりの科学的な事象に関する問題(教科横断的な内容を含む)を出題します。
- ・ まずは、基本的な知識・技能の習得と計算力の強化をおろそかにしないようにしてください。そのうえで、問題文をよく読む習慣をつける、身のまわりの自然や科学的なニュースにも関心をもつといったことを意識して学習に取り組んでください。





社会

■ 4教科入試（40分・100点）

問題構成

地理：約40点 歴史：約40点 公民：約20点

傾向と対策

全体：教科書を大切にしてください。本校の問題は皆さんが日頃使用している教科書に掲載されている内容を問う問題が大半です。ただし、教科書の内容を単純におぼえるのではなく、皆さんの周囲の出来事が教科書の内容とどのように関連しているのか考えるようにしてください。そしてその内容を文章の形で回答する習慣をつけましょう。

地理：教科書や地図帳に載っている知識をもとに、身近な出来事について考えられるようにしましょう。ただ単語を丸覚えするのではなく、自分のことばで説明できるよう、理解を深めてください。

歴史：問題文中の空欄補充の出題はもちろんありますが、資料や写真、表などから考える問題も多く出題されます。古い時代から現在に至るまで、それぞれの時代の特徴をしっかりと理解するように心がけてください。

公民：時事的なテーマを用いて、教科書の知識を問う問題を引き続き出題します。適語記入の問題が中心であり、やや発展的な知識を問う問題も出題します。

